

広げよう福祉の輪！

三徳だより

第111号 2024年(令和6年)冬号

発行：社会福祉法人三徳会

<https://www.santokukai.com/>



令和6年1月1日に発生した能登半島地震で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます

令和6年 初詣
成幸デイサービス
旗岡八幡神社

特別養護老人ホーム 成幸ホーム・在宅サービスセンター・在宅介護支援センター・ショートステイ
〒142-0053 品川区中延1-8-7 TEL.(代)03-3787-3616 FAX.03-3783-6580 santoku-seikou@ap.wakwak.com

品川区立戸越台特別養護老人ホーム・在宅サービスセンター・在宅介護支援センター・ショートステイ
〒142-0041 品川区戸越1-15-23 TEL.(代)03-5750-1054 FAX.03-5750-1055 santokukai.togoshi-h@proof.ocn.ne.jp

杜松在宅介護支援センター
〒142-0042 品川区豊町4-24-15 TEL.(代)03-5750-7707 FAX.03-5750-7709

品川区立荏原特別養護老人ホーム・在宅サービスセンター・在宅介護支援センター・ショートステイ
障害者計画相談支援事業所
〒142-0063 品川区荏原2-9-6 TEL.(代)03-5750-2941 FAX.03-5750-3695

小山台在宅介護支援センター
〒142-0061 品川区小山台1-4-1 TEL.(代)03-5794-8511 FAX.03-5794-8512

品川区立平塚橋特別養護老人ホーム・ショートステイ
〒142-0054 品川区西中延1-2-8 TEL.(代)03-5750-3632 FAX.03-5750-3642 hirataka-ow01@santokukai.com

品川区立小山在宅サービスセンター「小山の家」
〒142-0062 品川区小山7-14-18 TEL.(代)03-5749-7251 FAX.03-5749-7252

小山在宅介護支援センター TEL.(代)03-5749-7288 FAX.03-5498-0646

令和5年度に寄せられたご意見・ご要望などです

施設では意見箱の他、ご面会時やアンケートなどで皆さまからのお声を伺っております。主なものをご紹介します。

施設名	ご意見・ご要望の内容	回答または改善内容
特別養護老人ホーム	今後、面会の方法や時間等はどのようになりますか。(ご家族)	現在、各施設の状況に合わせた方法と時間でご面会を行っています。インフルエンザやコロナウイルスなど感染性の疾患は今後も流行することが予想されます。施設内で感染症が発生したときはオンラインでの面会や、状況により面会を中止する場合があります。
	足で漕いで移動する新型の車いすをテレビで見ました。導入して欲しいです。(ご家族)	施設ではモジュール型（既製品とオーダーメイドの間）の車いすを導入し、ご利用者の身体に合わせて調整をしています。新製品については、福祉機器展への参加や福祉用具専門相談員とも連携を図り検討していきます。引き続きご意見をお聞かせください。
	衣類の名前が消えて洗濯後に本人のところに帰ってこないようです。(ご家族)	洗濯による摩耗や乾燥機の使用で名前が薄くなったり、消えてしまうことがあります。マジックで濃く、しっかり複数箇所に記載いただくか、乾燥機にかけても落ちない名前シールや布で縫い付けていただきますようお願いいたします。
	荏原ホームの工事の音がうるさいです。(ご利用者)	大規模改修工事のため、しばらくご不便をおかけいたします。食事の時間帯は大きな音の出る工事は控えるなど、配慮しております。また、土・日曜日は休工日としています。引き続きご理解、ご協力をお願いいたします。
在宅介護支援センター	荏原複合施設は大規模改修工事で足場が組まれています。入り口がわかりにくいです。(ご利用者)	わかりやすいように案内板をつけました。今後ご来所の方がご不便を感じないように適宜、お知らせ等を掲示してまいります。
平塚橋ゆうゆうプラザ	1階の地域交流スペースの空調（冷気）が直接あたり寒い。(ご利用者)	いすの位置を変えて対応しました。今後もクールビス・ウォームビスに適合する温度設定と、風量等を確認してまいります。

ご存じですか

苦情解決・サービス向上委員



苦情解決・サービス向上委員は、福祉施設においてご利用者の権利を守り、福祉サービスの質を高めるために選任される委員です。委員の名前は各施設内の掲示板で公表し、ご利用者やご家族は施設に対するご意見等を直接委員に相談できます。

三徳会の各施設では年4回第三者委員会を開催し、苦情や事故の経過報告を行い、委員からご利用者と施設の間にたつ中立的な立場としてのアドバイスをいただいております。

第三者委員へご相談等がありましたらご遠慮なく施設へお問合せください。

成幸ホーム

至福のひととき



師走を迎えたある日のこと。中延商店街のアーケードも活気づき、ご利用者のHさんと久しぶりにショッピングを楽しみました。思えば長い間、新型コロナウイルス感染症で外出もままならない日々を過ごしましたが、この日は

天気にも恵まれた買い物日和となり、商店街へ出かけました。

Hさんと商店街を歩いていると昔話に花が咲き「私はジャズが好きでね、コーヒーを飲みながら聴くのが楽しみだったんだよ。レコードもたくさん持っていたよ。あなたにも聴かせたかったなあ…」と懐かしそうにおしゃっていました。それならば！と思いつき、買い物を終わるとすぐさまコンビニに直行。ドリップしたての熱々のコーヒーを口にしたHさんは「美味しいねえ。こんなに贅沢しちゃっていいのかな」と話し、至福のひとときを過ごされました。

戸越台ホーム

ようこそホーム喫茶へ！



戸越台ホームでは、9階の食堂で「ホーム喫茶」を開催しています。開放感ある食堂からの眺めは戸越台の自慢のひとつで、大崎・大井町方面が一望でき、新幹

線や運がよければドクターイエロー（設備検査するための試験走行車両）を見ることができます。

そんな、いつもとは違う空間でケーキやシュークリームなどを選び、飲み物とセットで注文して喫茶店の雰囲気を楽しんでいただいています。以前はボランティアさんが来て行列ができる人気喫茶店のようでしたが、今は小人数での開催としています。雰囲気は変わりましたが、クラシック音楽が流れるなか、静かに思いを馳せながら味わうのもいいと好評です。



今後もご利用者の皆さまに楽しんでいただけるように、さまざまなイベントを開催していきます。

荏原ホーム

引っ越ししました！



平成9年の開設以来およそ26年間事業を続けてきました「荏原在宅サービスセンター」は、荏原複合施設大規模改修工事に伴い12月25日に

仮移転をしました。

引っ越しを終えたサービスセンターの四季折々の飾りを貼った跡や、毎日のように私たちを手こずらせた建付けの悪いドアを目にすると、いろいろなことが走馬灯のように思い出されます。そして地域の皆さまにご利用いただいた浴室とご利用者と職員の笑顔があふれた食堂からは、今にも賑やかな声が聞こえてきそうです。

引っ越し先の旧荏原保健センター内は、仮設とは思えないきれいなしつらえで、お蔭様でご利用者の皆さまからも好評です。改修工事を終える令和7年9月にはまたこの地に戻り、荏原在宅サービスセンターの新たな歴史の1ページがスタートいたします。

平塚橋ホーム

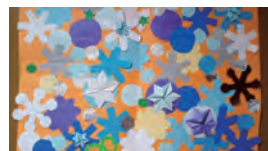
たのしい冬の作品展



12月のとある日。冬の訪れをにぎやかにしてみましよう、ユニットの皆さまで色とりどりの雪だ

るまと結晶の創作に取り組みました。寒色系の色を多めにしながら、ところどころに赤や黄色の暖色を交えてカラフルな雪だるまの出来上がり。二人のご利用者を中心に、みんなで雪の結晶をイメージした飾りをいくつも重ね合わせて、これぞアートという作品が出来上がりました。ハサミなどを上手に使い、創作への取り組みはみなさん真剣そのもので、職員も夢中になってしまいました。

雪だるまは表情一つひとつが異なり、まるいひげを蓄えた顔やまるで何かしゃべりだしそうな顔つきのものも。「夜中にダンスでもしていたら楽しいですね」と会話も弾みました。



防災訓練・福祉避難所



地域とともに安心のまちづくり
災害から身を守るために私たちができること

中延一丁目・西中延一丁目町会合同訓練
令和5年12月2日(土) 中延小学校



車いすの操作体験をしました

このたび品川区内の区民避難所で一斉防災訓練が開催され、三徳会は中延小学校で行われた防災訓練に参加しました。当日は生徒と地域の住民の方々が多数参加され、車いす操作の他に応急処置(包帯法)、毛布を用いた応急担架の作り方のブースを回り実地訓練をしました。

三徳会は車いす体験の担当となり、まずは機能訓練指導員が座面シートの広げ方、タイヤの空気圧の確認、ブレーキのかけ方、坂道や段差があるときの操作説明を行いました。説明を真剣に聞き入る子どもたちや地域の方から質問が出るなど、皆さん熱心に取り組まれていました。実技に移ると、乗る前の点検や操作のポイントをしっかりと習得した生徒が、乗っている人が不安にならないよう「動きますね」と声をかけたり、車いすを押す速度に気を配る場面もありました。また、地域住民の方から「車いすは私たちににとって身近なものになってきているので、正しい操作方法を学ぶことができよかったです」との言葉をいただきました。

私たちはこれからも地域のなかでお役に立てますよう、皆さんとの交流と連携を図ってまいります。

在宅避難とは

もし今、首都直下型地震が起きたら、まずは避難所に向かう人がいるのではと思います。しかし、都市部は避難所が受け入れられる人数は圧倒的に少なく、自宅で安全が確保できる場合は「在宅避難」が勧められています。

現在、在宅介護支援センターでは在宅の要配慮者(高齢者や障害をお持ちの方)に対して、品川区と連携をとりながら支援する計画を立てています。また、地震や災害時は何よりも地域の力が必要となりますので、これからも地域との連携を一層深めてまいります。

職員リレーエッセイ



荏原ホーム
事務室

三上 幸香

私の好きな音

上京して三徳会に入職してから、もう少しで3年が経ちます。仕事にも慣れてきましたが、まだまだ分からない事ばかりで日々学ぶことが多くあります。そして、尊敬できる方々に囲まれて仕事ができる環境に感謝しかありません。

そんな私ですが、ひとり暮らしを始めてから「音」を感じる事が多くなりました。晴れの日には公園で遊んでいる子どもの声と遊具のきしむ音、犬や鳥の鳴き声や散歩しながら犬に話しかけている人の声にもつい微笑んでしまいます。雨の日には匂いを感じ、雨粒が傘や葉っぱに落ちる音、長雨が地面を叩く音を聴きながら過ごすのも好きです。のんびりしたい時は、窓を開けて風にあたりながら音を聴くだけで、とても心が落ち着きます。もうひとつの大好きな時間は、1日の終わりにキャンドルを灯して湯船に浸かりながら音楽を聴くことです。炎のゆらぎを見ていると、温かい気持ちになり疲れが一気に吹き飛びます。

友達と話をしていると「音」の感じ方がそれぞれ違い面白いです。普段気にしていなかったところに少し意識を向けてみると、気づきがたくさんあると最近つくづく感じます。私にとって、なんでもないゆったりした時間が幸せで、いつまでも続くことを願っています。

スキルアップ!

介護技術勉強会

令和5年11月29日(水)
会場 平塚橋ゆうゆうプラザ
講師 田中義行先生(理学療法士)



今回はご利用者の臥床時と車いす上の姿勢を学び、根拠ある介護技術を習得する研修でした。当日は介護職員のみならず、看護師や機能訓練指導員の参加もあり予定参加者を上回るほどの興味深い研修でした。講義は介護技術を学び直す機会となっただけでなく、目からウロコの技術もあり受講者の体験や質問も活発に出て大変勉強になりました。

次は実地研修として、実際の現場に即した技術を指導いただき、職員それぞれが質の高い介護を目指し、ご利用者に還元していけるように研鑽を積んでいきます。